

楽落くんライト設置マニュアルの改訂

1 はじめに

ハクビシン、アライグマ、タヌキなどの中型野生動物やイノシシなどの被害対策として、被害が発生する時期だけに設置できる電気柵「楽落（らくらく）くん」を開発し、県内で普及が進んでいます。さらに、「楽落くん」より低コストで設置できるように改良した「楽落くんライト」を開発しました。

「楽落くんライト」は、合成樹脂でできた楽落ネットのかわりに、安価で柔らかい材質の防風網を使用するため、設置には技術と経験が必要です。このため、現場からも緩みなくネットを設置するコツなどを分かりやすく解説したマニュアルが望まれていました。そこで、経験がなくても、うまく設置ができるように設置マニュアルの改訂を行うとともに構造の一部を改良しました。

2 「楽落くんライト」の構造

「楽落くん」「楽落くんライト」とも、アライグマなどの中型野生動物が飛び越えるか、柵に足をかけて乗り越えるかの境界となる高さ40cmに電線を張り、その下をネット（楽落くんは合成樹脂〈トリカルネット、楽落ネット〉、ライトは防風網）で囲う構造となっています（図1）。野生動物が柵を乗り越えようとする際に、鼻などで探索することにより電線に接触し、効果的に感電させることができます。

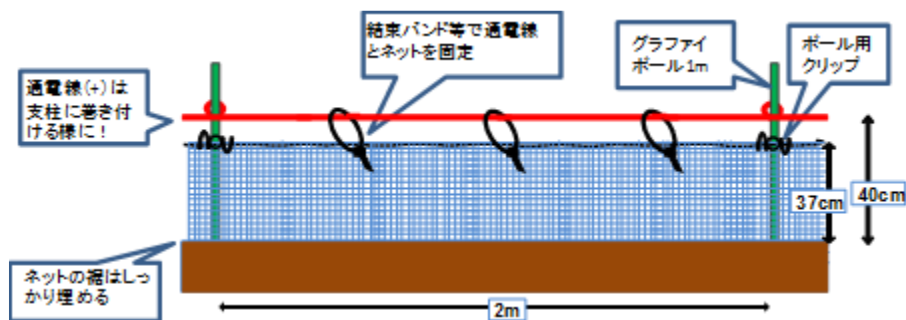


図1 新設置マニュアルの柵

3 設置マニュアルの主な変更点

今回の改訂では、設置の細かなコツを加筆するとともに、視覚的にわかるよう写真やイラストを追加しています。

例えば、防風網は柔らかいため、たるみやすいという問題がありました。そこで、たるみを少なく張るためのコツとして、ネットを張るときには、ネットは広げずに支柱の中心に集中させながら横に広げると緩みなく張ることができること。また、電線のゆるみについては、電気柵支柱を巻くように張ると良いことなどを追記しました。漏電を防ぐためのパイプ支柱や碍子（ガイシ）の設置の注意点などについても詳しく解説してい

ます。

さらに、構造の改良として、これまでは電線2本としていましたが、1本でも防止効果に差がないことが確認できたことから、電線は1本とし、コストの低減と設置の簡便さを高めています。

4 まとめ

中型野生動物などの被害対策として、簡易で導入コストも低い電気柵「楽落くんライト」が、今回の設置マニュアルの改訂や構造の改良により、より多くの現場での導入が進み、鳥獣害被害の低減や拡大抑制に貢献できることを期待しています。

【マニュアルの掲載先】

農業技術研究センターホームページ

<https://www.pref.saitama.lg.jp/b0909/shin-choujuugai.html>

【問い合わせ先】

埼玉県農業技術研究センター 鳥獣害防除担当

電話：048-536-0311（代表） FAX：048-536-0315（代表）